



主力製品（配電盤製造）

- 本社所在地：岐阜県瑞穂市十七条927番地1
- 事業概要：大手配電盤メーカーのOEM製造および自社製品の製造
- 常時使用する従業員：137名  
(グループ全体・2026年2月時点)
- 現在の売上高：42億円  
(グループ全体・2025年6月期)
- 法人番号：6200001010030
- Web：http://www.taiyonet.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
井上 慎一郎

## 安定した電気をお届けする！

太陽電機工業は、高低圧配電盤をはじめ電力の受変電、制御・監視システムの専門メーカー。創業以来、半世紀以上にわたって重電系など大手配電盤メーカーのOEM受託を中心に多種多様な用途・仕様の設備を製造し着実に成長してきました。大量の電力を必要とするすべての場所がTAIYOのフィールドです。AIが急速に普及し、電力需要が拡大している今こそ、業容を拡大し人員を整えチャレンジすればゴールチャンスはあると感じています。100億を必ずゲットします。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2034年の100億円超のグループ売上高達成に向け、年率10%以上の成長を目指します。

### 課題

- ・旺盛な電力需要に支えられ、仕事の確保は可能。オーダーメイドの配電盤製作を得意としていることから制作に熟練の設計、製造の人員が必要。社員の養成に5年から10年の時間を要すこと。
- ・6K~30Kの大型特高圧配電盤を製作するには広大な工場を要することから用地の取得。新たな工場の建設が急務。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・幅広い顧客のニーズに応えるため、低圧の盤、JIS盤等の製作を得意とする同業他者をM&Aにて取得の意向
- ・人員の増強 育成に時間を要す設計士を倍増する。
- ・3D導入による自動化推進。

### 実施体制

- ・社長直轄でM&Aを進行中。過去にもM&Aを実施。大きなシナジー効果も得られている。グループ企業を加えることで更なる相乗効果も期待できる。
- ・岐阜県からの支援で外国人エンジニア人材を確保、Iターン、Uターン採用も積極的にすすめている。
- ・3DCADを導入。DX化による自動化が進展している。最新鋭の3D対応の複合加工機、ベンダー機器がを配置し、熟練者を要せずとも、作業効率をアップできる体制構築できている。更に、自動銅線加工機等拡充の意向。

## 売上高100億円実現目標とグループ体制

- ・太陽電機工業グループは、1967年日立グループ企業の協力工場として配電盤の製作を開始しました。大手配電盤メーカーのOEM受託を中心に実績を積重ね、国内の主要施設のインフラを支えて参りました。2018年には株式会社雄喜を傘下に加え、電気工事等の様々な電気需要に応えています。
- ・株式会社雄喜は主要業務として大手企業の電気工事を請負うほか、電材の商社部門を新たに加え、太陽電機工業グループに電材を安定的に供給しています。
- ・お客様の様々な電気需要によりお応えするため、低压配電盤を製作できる会社とM&Aを予定しています。電気の上流から下流まで社内にて製作することで、お客様により早く、より安価に、より安定した電気をお届けできるとの判断から取得に向け鋭意、交渉しています。
- ・グループ企業が結束し、大目標の100億に挑戦し、早期達成できるようグループ一丸となって猛進して参ります。

## グループ売上目標



100億  
達成

